

# 🌸 春の火災予防運動のお知らせ(3月1日から7日) 🌸

乾燥しやすい春先は、住宅火災や林野火災が特に増える季節です。  
皆さまの大切な命と地域を守るため、次のポイントに御協力ください。

## 🔥 1 住宅火災から命を守る

近年、住宅火災による死者数は増加傾向にあり、特に 65 歳以上の高齢者が7割以上を占めています。

逃げ遅れを防ぐためには、早期発見と日頃の備えが欠かせません。



### ●住宅用火災警報器の設置・点検をしてください。

- ・ 設置していないご家庭は、必ず設置をしてください。
- ・ 設置から 10 年が目安。古い警報器は交換を推奨します。
- ・ 電池切れの警報音が鳴ったら、すぐに電池交換をしてください。
- ・ 木造住宅が密集する地域では、屋外警報装置付きの警報器も有効です。

### ●安全装置付き器具・消火器の活用を

- ・ 安全装置付きのストーブや調理器具を選びましょう。
- ・ 住宅用消火器や簡易消火具を備えておくことで初期消火に役立ちます。

### ●電気火災に注意

電気火災は増加しており、出火原因の約 8 割が不適切な使用や管理不足です。

- ・ コンセントのほこりを清掃しましょう。
- ・ たこ足配線を避けましょう。
- ・ 取扱説明書に沿った使用をしてください。
- ・ リチウムイオン電池は純正品を使い、充電中の放置は避けましょう。

### ●たばこの火災に注意

住宅火災の出火源で最も多いのがたばこです。

- ・ 吸い殻は必ず水で完全に消すこと。
- ・ 寝たばこは絶対にしないこと。
- ・ 屋外でも風の強い日は特に注意すること。



### ●防災品の活用

カーテン・じゅうたん・寝具などは、防災製品を選ぶことで火災拡大を防げます。

## 2 地震火災への備え

大規模地震時には同時多発的に火災が発生し、消火活動が困難になります。

### ●家具の転倒防止・火気設備の耐震化

- ・家具の固定やストーブの耐震装置の確認をしましょう。
- ・住宅用火災警報器や消火器を設置しましょう。

### ●地域での防災訓練に積極的に参加

- ・初期消火訓練
- ・飛び火警戒の訓練
- ・DIG(災害図上訓練)などで地域の危険を共有
- ・その他、地域でできることを考えましょう(例:連絡網の整備等)。



### ●感震ブレーカーの設置

地震時の電気火災を防ぐため、感震ブレーカーの普及が進められています。  
特に木造密集地域や津波浸水想定区域では効果的です。

## 3 林野火災を防ぐ

1月から5月は林野火災が増える時期です。  
林野火災の多くがたき火や火入れなどの人為的な原因です。

### ●火の取り扱いに十分注意

- ・風の強い日のたき火は絶対にしない。
- ・たき火等の行為をするときは必ず消防署へ届出をする。
- ・山林周辺では火気の使用を控える。
- ・少雨情報が出ている地域では特に注意する。



### ●林野火災警報・注意報の確認

警報が出ているときは、「屋外での火の使用が制限」されます。  
注意報の時も、控えるようにしてください。  
地域の広報や防災無線にご注意ください。

## 地域みんなで火災ゼロの春にしよう

火災は「ちょっとした注意」で防ぐことができます。  
ご家庭での点検、地域での声のかけ合いを通じて、安心して暮らせるまちづくりに御協力よろしくお願ひいたします。